

平成29年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年1月13日

上場会社名 日創プロニティ株式会社 上場取引所 福
 コード番号 3440 URL http://www.kakou-nisso.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 徹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 諸岡 安名 TEL 092-552-3749
 四半期報告書提出予定日 平成29年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年8月期第1四半期の連結業績（平成28年9月1日～平成28年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期第1四半期	1,041	—	47	—	52	—	26	—
28年8月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 29年8月期第1四半期 28百万円 (-%) 28年8月期第1四半期 -1百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年8月期第1四半期	3.78	—
28年8月期第1四半期	—	—

(注) 平成28年8月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成28年8月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年8月期第1四半期	9,266	7,222	77.9
28年8月期	9,452	7,407	78.4

(参考) 自己資本 29年8月期第1四半期 7,222百万円 28年8月期 7,407百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年8月期	—	0.00	—	30.00	30.00
29年8月期	—	—	—	—	—
29年8月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年8月期の連結業績予想（平成28年9月1日～平成29年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,480	—	220	—	225	—	149	—	20.91
通期	5,500	28.8	550	△8.6	555	△9.7	371	△4.7	52.07

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注) 2. 平成28年8月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成29年8月期第2四半期(累計)の対前年同四半期増減率については記載していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年8月期1Q	7,360,000株	28年8月期	7,360,000株
② 期末自己株式数	29年8月期1Q	235,350株	28年8月期	235,350株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年8月期1Q	7,124,650株	28年8月期1Q	7,201,768株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

平成28年8月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間との比較・分析については記載しておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府と日銀による経済政策及び金融緩和政策の継続等を背景に、緩やかな回復基調のもと推移しましたが、企業収益の改善や設備投資の持ち直しには足踏みが見られました。

このような状況の中、当社グループは、中期経営計画に基づき、積極的な営業活動とコスト削減に取り組み、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,041百万円、営業利益は47百万円、経常利益は52百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は26百万円となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

<金属加工事業>

新規取引先の開拓、既存取引先のリピートに積極的に取り組むとともに個別案件に対しきめ細かな営業活動を行った結果、受注高は堅調に推移し、当第1四半期連結累計期間末における受注残高は3,360百万円となりました。しかし、主として大型の太陽電池アレイ支持架台に関し、電力会社と発電事業者との間の系統接続が遅れていることが影響し、売上高は728百万円、セグメント利益は69百万円となりました。

<ゴム加工事業>

平成28年3月15日付けで、ゴム製品製造業の吾婦ゴム工業株式会社を子会社化しておりますが、建築・インフラ部材及び車両部品等が堅調に推移し、売上高は312百万円、セグメント利益は55百万円となりました。

<建設事業>

平成28年4月28日付けで、建設業の日創エンジニアリング株式会社を設立しておりますが、売上高の計上はなく、セグメント損失は5百万円となりました。なお、当第1四半期連結累計期間における受注高は312百万円となりました。

(注) セグメント利益又は損失の合計額と営業利益との差異△71百万円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は6,515百万円となり、前連結会計年度末に比べ202百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が241百万円減少したことによるものであります。固定資産は2,750百万円となり、前連結会計年度末に比べ16百万円増加いたしました。

この結果、資産合計は9,266百万円となり、前連結会計年度末に比べ186百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,132百万円となり、前連結会計年度末に比べ27百万円増加いたしました。固定負債は910百万円となり、前連結会計年度末に比べ28百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は2,043百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は7,222百万円となり、前連結会計年度末に比べ185百万円減少いたしました。これは主に剰余金の配当213百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は77.9%（前連結会計年度末は78.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年10月14日に公表の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,998,692	4,756,735
受取手形及び売掛金	996,545	1,055,577
商品及び製品	36,505	40,750
仕掛品	168,279	199,004
原材料及び貯蔵品	366,245	416,492
その他	151,547	46,995
貸倒引当金	△258	△273
流動資産合計	6,717,557	6,515,283
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	942,429	931,448
機械装置及び運搬具(純額)	849,159	896,763
土地	645,888	645,888
リース資産(純額)	25,741	23,793
建設仮勘定	11,498	2,000
その他(純額)	25,342	25,416
有形固定資産合計	2,500,058	2,525,310
無形固定資産		
のれん	111,172	105,520
その他	65,518	61,224
無形固定資産合計	176,691	166,744
投資その他の資産		
投資有価証券	43,439	46,691
その他	18,189	12,086
貸倒引当金	△3,857	△83
投資その他の資産合計	57,771	58,694
固定資産合計	2,734,521	2,750,749
資産合計	9,452,078	9,266,033

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	176,861	223,282
短期借入金	440,000	410,000
1年内返済予定の長期借入金	162,862	144,528
未払法人税等	37,336	28,539
賞与引当金	3,058	32,235
その他	284,872	293,867
流動負債合計	1,104,991	1,132,453
固定負債		
長期借入金	430,671	402,952
退職給付に係る負債	42,550	44,145
資産除去債務	1,307	1,792
その他	464,676	461,841
固定負債合計	939,204	910,731
負債合計	2,044,195	2,043,184
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,176,968	1,176,968
資本剰余金	1,096,968	1,096,968
利益剰余金	5,323,172	5,136,358
自己株式	△187,361	△187,361
株主資本合計	7,409,747	7,222,932
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,864	△84
その他の包括利益累計額合計	△1,864	△84
純資産合計	7,407,883	7,222,848
負債純資産合計	9,452,078	9,266,033

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)
売上高	1,041,802
売上原価	770,086
売上総利益	271,715
販売費及び一般管理費	224,029
営業利益	47,686
営業外収益	
受取利息	53
受取配当金	1,648
受取家賃	1,300
受取補償金	1,217
その他	2,262
営業外収益合計	6,482
営業外費用	
支払利息	1,538
その他	460
営業外費用合計	1,999
経常利益	52,169
特別利益	
固定資産売却益	1,109
特別利益合計	1,109
特別損失	
固定資産除却損	154
特別損失合計	154
税金等調整前四半期純利益	53,124
法人税、住民税及び事業税	25,494
法人税等調整額	705
法人税等合計	26,199
四半期純利益	26,924
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	26,924

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)
四半期純利益	26,924
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	1,779
その他の包括利益合計	1,779
四半期包括利益	28,704
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	28,704
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金属加工事業	ゴム加工事業	建設事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	728,890	312,912	—	1,041,802	—	1,041,802
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	135	—	135	△135	—
計	728,890	313,048	—	1,041,938	△135	1,041,802
セグメント利益又は損失(△)	69,508	55,012	△5,751	118,769	△71,082	47,686

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△71,082千円は、セグメント間取引消去5,959千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△77,042千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年9月1日 至 平成28年11月30日)	
	金額(千円)	前年同期比(%)
金属加工事業	566,717	—
ゴム加工事業	156,832	—
合計	723,549	—

- (注) 1. 金額は製造原価によっており、セグメント間の内部振替前の数値によっております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 平成28年8月期第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同期比については記載しておりません。
 4. 建設事業については、生産実績を定義することが困難であるため、生産実績の記載はしておりません。

②受注状況

当第1四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年9月1日 至 平成28年11月30日)			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
金属加工事業	812,868	—	3,360,816	—
ゴム加工事業	333,476	—	80,134	—
建設事業	312,902	—	312,902	—
合計	1,459,246	—	3,753,852	—

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 平成28年8月期第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同期比については記載しておりません。

③販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年9月1日 至 平成28年11月30日)	
	金額(千円)	前年同期比(%)
金属加工事業	728,890	—
ゴム加工事業	312,912	—
建設事業	—	—
合計	1,041,802	—

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 平成28年8月期第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同期比については記載しておりません。